

家庭の健康的な食生活実践に及ぼす学校給食の教育的価値

～牛乳・乳製品を題材として～

研究代表者：松本大学人間健康学部 成瀬祐子

【研究成果の概要】

学校給食の提供とその教材化による食育の効果は、給食を食べる児童だけではなく、保護者等も含めた家族の健康的な食生活の構築にも寄与していると推測されるが、その効果は明らかにされていない。そこで、本研究では、特に小学校入学以降に給食として毎日提供されることになる牛乳に着目しつつ、小学校入学時から6か月間にわたって児童およびその保護者の食意識の変化を調査し、学校給食提供に伴う家庭への教育的価値について評価することを目的に分析を行った。

長野県松本市の西部学校給食センターが配食する小学校11校に2021年度4月に入学した822名の児童の保護者を対象に、4、6、7、10月の4回の質問票調査を実施し、4回の調査票が揃い、さらに4回の回答者が一致した296家庭(有効回答率36.0%)を分析対象とした。

家庭で学校給食に関する話を話す子どもは6月に223人(分析対象の76.4%、以下同様)、給食開始から半年たった10月でも207人(69.9%)と、小学1年生にとって、学校給食が高い関心事であることが窺えた。また、入学前の給食喫食経験の有無や、食への関心の程度によって差はあるものの、学校給食が児童の食への関心や態度に影響を及ぼし、少なくとも開始から半年たった10月でもその影響が持続されていることが明らかになった。

さらに、子どもが学校給食を食べるようになったことにより、6月時点で131(45.3%)の家族の食への関心が強くなり、155(53.8%)の家族の食に関する話題が増えていたことから、学校給食が子どもの家族にも影響を及ぼすことが明らかになった。10月には、食への関心が強くなった家族は172(58.3%)とさらに増え、食に関する話題は増えた状態が維持されていた。子どもが自ら食事や食べ物のことを話す家庭の方が食への関心や食の話題が増加しており、子どもが学校給食や食に関する話を話題にすることで、より家庭に影響を与えやすくなると考えられた。一方、4月から10月にかけて栄養バランスやカルシウム摂取を意識する保護者は増えたが、給食との関連は明らかではなかった。また、牛乳・乳製品に着目すると、それらの摂取頻度や摂取意欲に変化は見られなかった。今後は、子どもが家庭で給食や食のことをより話題にしていくようなスキームの構築とともに、行動変容をもたらす要因やそれに対応させた方策を模索していきたい。

【研究分野】

食と教育

【キーワード】

学校給食 食意識の変化 児童 保護者 牛乳

1. 研究開始当初の背景

低収入群の小学生のいる家庭では、食事の量とバランスに関する食知識がない者等が多

いことが報告され¹⁾、健康的な食生活を実践する家庭の力の低下が懸念されている。わが国では、98.8%と、ほぼすべての小学生に完全給食が提供されている²⁾。学校給食は健康的な食事の見本であり、給食提供とその教材化による食教育は有効であると考えられ、今までにも、給食提供そのものの教育効果としては、学習態度・意欲との関連を見た研究³⁾や児童期の食行動形成に着目して学校給食の役割を検討した研究⁴⁾等の報告があり、2018年にはシステマチック・レビューの結果についても報告されている⁵⁾。学校給食の提供による食育効果は、保護者等も含めた家族の健康的な食生活の構築にも寄与していると推測されるが、家庭の健康的な食生活実践に及ぼす学校給食の影響を検証した研究は少なく、このような視点における学校給食の教育的価値は明確とはいえない。本研究では、小学校入学以降、給食提供により児童が毎日摂取するようになる牛乳は、学校給食が家庭に及ぼす影響について評価する上で最適な食品であると考え、特に牛乳に着目して分析を試みることにした。

2. 研究の目的

本研究は、小学校入学時から6か月間にわたって児童およびその保護者の食意識の変化を調査することで、学校給食提供とそれを教材とした家庭に対する食育の教育的価値について評価することを目的とした。

3. 研究の方法

長野県松本市の西部学校給食センターが配食する小学校11校に、2021年4月に入学した児童822名の保護者を対象とし、4月、6月、7月、10月の計4回の質問票調査を実施し、夏休み前には夏休み中の教育介入をねらいとしてワークブックの配布を行った。4月は入学時の状況、6月は給食開始による影響、7月と10月は給食だよりにより牛乳と栄養バランスについての情報を掲載し、その影響を検証するために実施した。質問票の配布、回収およびワークブックの配布は、学級担任を通じて行った。なお、質問票は、Microsoft Formsでも作成し、WEBでも回答できるようにした。

質問票への回答は、家庭で最も食事の準備をしている者に依頼した。質問票では、回答者の属性、食意識、食事内容、学校給食のイメージ等について、さらに、子どもが学校給食を食べるようになったことによる子ども自身の食に関する変化、および、家族の食に関する変化などについて問うた(別添1)。

夏休み前に配布したワークブックは、食事の栄養バランスを考えるための3色食品群と、学校給食のない日には摂取量の減少が懸念される牛乳⁶⁾について、保護者とともに取り組めるような内容とした。また、毎日の食事でも意識できるよう、3色食品群や牛乳の摂取について色をぬって記録するワークシートも添付した(別添2)。

解析では、4回の調査票が揃い、さらに4回の回答者が一致した家庭を分析対象とした。3回または4回の調査期間にわたる変化にはFriedman検定、入学前の給食の有無や年上のきょうだいの有無など2群間の比較にはMann-WhitneyのU検定、子どもの変化と家族の

変化の関係には χ^2 検定を用いて検討を行い、 $p<0.05$ を有意とした。解析には IBM SPSS Statistics 27 を使用した。

本研究は、松本大学倫理委員会の承認(承認番号第 114 号)を得て実施し、調査票に添付する書面にて、自由意志での参加と匿名化処理の説明を行い、調査票の提出をもって、同意が得られたものとした。

4. 研究成果 (一部、考察含む)

(1) 属性

質問票の回収数は 4 月 686(83.5%)、6 月 691(84.1%)、7 月 526(64.0%)、10 月 532(64.7%) だった。4 回の調査票が揃い、さらに 4 回の回答者が一致したのは 296 家庭(有効回答率 36.0%)だった。

回答者は父親 6 人(2.0%)、母親 287 人(97.0%)、祖母 3 人(1.0%)だった。年上のきょうだいがいる子どもは 125 人(42.7%)で、入学前に保育所などで給食を食べていた子どもは 230 人(78.2%)だった。また、給食が開始される 4 月の時点で食への関心が「強い」または「ある」子どもは 245 人(83.6%)だった。

(2) 保護者からみた、子どもが学校給食を食べるようになったことによる子どもの変化

給食開始 2 か月後の 6 月時点で、学校給食に関すること (以下、給食話題) を「かなり」「やや」話す子どもは 223 人(76.4%)、食べることや食べ物への関心 (以下、食への関心) が「かなり」「やや」強くなったのは 119 人(40.7%)、食事や食べ物のことを自ら話題にすること (以下、食話題) が「かなり」「やや」増えたのは 151 人(51.5%)、好き嫌いが「かなり」「やや」減ったのは 96 人(32.7%)、食事を「かなり」「やや」楽しそうに食べるようになった (以下、楽しそうに食べる) のは、118 人(40.3%)だった。6 月から 10 月にかけて、給食話題はやや減った($p=0.004$)が、好き嫌いが減った子どもは増加した($p=0.021$)。食への関心や食話題が増えた子どもに有意な変化はなく、6 月の状態が保たれていた(表 1)。

入学前の保育所などでの給食経験の有無による 6 月時点での子どもの変化の違いをみたところ、有意な差が見られたのは食話題の項目のみで、給食経験のない子どもで「かなり」「やや」増えたのは 40 人(63.5%)、ある子どもは 109 人(47.8%)だった($p=0.036$)。他の項目では、両群に差は見られなかった。同様に、4 月の入学時に食への関心が「弱い」または「ない」子どもと、そうでない子どもを比べて有意な差が見られた項目は、給食話題($p=0.004$)、食への関心($p=0.003$)、食話題($p=0.011$)、楽しそうに食べること($p<0.001$)だった。いずれも、入学時の食への関心が「弱い」または「ない」子どもの方が良い方向への変化は少なかったものの、それでも、「弱い」「ない」群のうち学校給食に関する話を話す子どもが 65.9%、食への関心が増加した子どもが 23.0%、食の話題が増えた子どもが 35.5%、楽しそうに食べるようになった子どもが 18.8%いた。

表1 保護者からみた 給食を食べるようになったことによる子どもの変化

		6月		7月		10月		p値†
		人	%*	人	%*	人	%*	
学校給食に関すること	かなり話す	72	24.7	52	17.6	62	20.9	0.004
	やや話す	151	51.7	161	54.6	145	49.0	
	どちらでもない	45	15.4	54	18.3	56	18.9	
	やや話さない	15	5.1	18	6.1	22	7.4	
	かなり話さない	9	3.1	10	3.4	11	3.7	
食べる事や食べ物への関心	かなり強くなった	28	9.6	31	10.5	28	9.5	0.181
	やや強くなった	91	31.1	102	34.5	116	39.3	
	どちらでもない	169	57.7	157	53.0	146	49.5	
	やや弱くなった	4	1.4	5	1.7	5	1.7	
	かなり弱くなった	1	0.3	1	0.3			
食事や食べ物のことを自ら話題にすること	かなり増えた	42	14.3	33	11.1	30	10.2	0.555
	やや増えた	109	37.2	116	39.2	125	42.4	
	どちらでもない	133	45.4	138	46.6	130	44.1	
	やや減った	8	2.7	8	2.7	9	3.1	
	かなり減った	1	0.3	1	0.3	1	0.3	
好き嫌い	かなり減った	10	3.4	18	6.1	23	7.8	0.021
	やや減った	86	29.3	92	31.1	92	31.2	
	どちらでもない	182	61.9	168	56.8	166	56.3	
	やや増えた	13	4.4	16	5.4	12	4.1	
	かなり増えた	3	1.0	2	0.7	2	0.7	
食事を楽しそうに食べる	かなりなった	31	10.6	24	8.2	34	11.5	0.059
	ややなった	87	29.7	100	34.0	105	35.5	
	どちらでもない	168	57.3	164	55.8	152	51.4	
	ややつまらなそうになった	7	2.4	6	2.0	5	1.7	
	かなりつまらなそうになった	0	0.0	0	0.0	0	0.0	

n=296

* 各項目の有効回答数に対する割合

† Friedman 検定

(3) 保護者の学校給食への関心とイメージ

関心の程度に差はあるものの、献立を見ている保護者は6月260人(89.9%)、10月262人(88.8%)と、90%近くの保護者が毎月の献立を見ていた。同様に、給食だよりを読んでいる保護者は6月257人(88.6%)、10月254人(86.2%)と、85%以上が給食だよりも読んでいた。

保護者の給食に対する4月段階でのイメージを年上のきょうだいの有無で比較すると、

おいしさ(「かなり」「やや」おいしい:あり群 91 人(76.5%)、なし群 88 人(53.6%)、 $p<0.001$)、栄養面(「かなり」「やや」健康的:あり群 105 人(89.0%)、なし群 124 人(75.7%)、 $p=0.008$)、バラエティー(「かなり」「やや」富んでいる:あり群 92 人(78.0%)、なし群(92 人(55.8%)、 $p<0.001$)、食育の題材として(「かなり」「やや」優れている:あり群 94 人(79.6%)、なし群 97 人(59.1%)、 $p<0.001$)の項目においてきょうだがいる群のほうが評価がよかった。しかし、7月以降はその差も解消され、8割以上の保護者が、学校給食はおいしく、健康的で、食育の題材として優れていると評価していた(表2)。

(4) 子どもが学校給食を食べるようになったことによる家族の変化

6月の時点で、家族の食への関心が「かなり」「やや」強くなった家庭は131(45.3%)だった。10月には172(58.3%)になっており、6月から継続的に増加していた($p=0.001$)。一方、家庭での食の話題は、6月時点で「かなり」「やや」増えた家庭が155(53.8%)で、10月まで有意な変化は見られなかった($p=0.114$)。また、家族の食への関心が強くなった群と、どちらでもない・弱くなった減った群に、食の話題について増えた群と、どちらでもない・減った群に分けて検討したところ、学校給食を食べるようになって自ら食事や食べ物のことを話題にすることが増えた子どもの家庭の方が、どの月でも、家族の食への関心および食に関する話題が増えていた(いずれも $p<0.001$) (図1)。6月時点での家族の食への関心に、年上のきょうだいの有無による差はなく($p=0.487$)、食に関する話題の増加では、年上のきょうだいがいる家庭では76(62.8%)、いない家庭では78(47.5%)と有意な差が見られた($p=0.017$)。

食への関心や食の話題の増加以外に、家族に変化があったと思うことを自由記述でたずねたところ、6月の調査票全回収数691中35、10月の532中26の回答が得られた。回答数は少ないものの、それぞれ、学校給食が家庭の料理のレパートリーの増加のヒントになったり、家族の行動変容やコミュニケーションのきっかけになっていたことが窺えた(表3)。

(5) 保護者の食意識の変化

栄養バランスとカルシウム摂取を「かなり意識」「やや意識」している保護者は、4月から10月にかけて有意に増え、栄養バランスは265人(89.8%)から284人(96.6%)に、カルシウム摂取は187人(63.6%)から223人(75.6%)になった(いずれも $p<0.001$)。しかし、これらの変化と、給食だよりや子どもの給食に関する話題、子どもの食意識や食に関する話題の増加などとの関連については、いずれの項目でも明らかな関係は見いだせなかった。

(6) 牛乳について

学校給食で牛乳が提供されることを「とてもよい」「少しよい」と評価する保護者が、4月の134人(80.9%)と比べて7月251人(84.8%)($p=0.005$)および10月254人(86.4%)($p<0.001$)とそれぞれ有意に増えていたが、給食だよりや子どもの給食に関する話

表2 保護者の学校給食に対するイメージ

		4月		6月		7月		10月		p値 [†]
		人	%*	人	%*	人	%*	人	%*	
おいしさ	かなりおいしい	63	22.3	85	29.7	96	32.8	104	35.4	<0.001
	ややおいしい	116	41.0	126	44.1	142	48.5	131	44.6	
	どちらでもない	86	30.4	62	21.7	45	15.4	50	17.0	
	ややおいしくない	17	6.0	13	4.5	10	3.4	8	2.7	
	かなりおいしくない	1	0.4	0	0.0	0	0.0	1	0.3	
味付け	かなり濃い	0	0	0	0	4	1.4	4	1.4	0.746
	やや濃い	12	4.2	10	3.5	11	3.8	17	5.8	
	どちらでもない	237	83.7	233	81.8	228	78.4	228	77.3	
	やや薄い	31	11.0	39	13.7	44	15.1	44	14.9	
	かなり薄い	3	1.1	3	1.1	4	1.4	2	0.7	
量	かなり多い	2	0.7	1	0.4	2	0.7	7	2.4	0.818
	やや多い	33	11.7	36	12.6	27	9.2	30	10.2	
	どちらでもない	229	81.2	230	80.7	248	84.6	240	81.6	
	やや多い	15	5.3	17	6.0	14	4.8	17	5.8	
	かなり多い	3	1.1	1	0.4	2	0.7			
栄養面	かなり健康的	130	46.1	152	53.3	159	53.9	163	55.4	<0.001
	やや健康的	99	35.1	102	35.8	103	34.9	104	35.4	
	どちらでもない	49	17.4	30	10.5	33	11.2	24	8.2	
	やや健康的でない	4	1.4	0	0.0	0	0.0	2	0.7	
	かなり健康的でない	0	0.0	1	0.4	0	0.0	1	0.3	
バラエティ	かなり富んでいる	65	23.0	97	33.9	116	39.3	123	41.8	<0.001
	やや富んでいる	119	42.0	113	39.5	118	40.0	110	37.4	
	どちらでもない	87	30.7	66	23.1	55	18.6	54	18.4	
	やや単調	9	3.2	9	3.1	6	2.0	6	2.0	
	かなり単調	3	1.1	1	0.3	0	0.0	1	0.3	
食育の題材として	かなり優れている	86	30.5	110	38.5	124	42.8	123	41.8	<0.001
	やや優れている	105	37.2	111	38.8	112	38.6	123	41.8	
	どちらでもない	83	29.4	60	21.0	52	17.9	44	15.0	
	やや不十分	6	2.1	3	1.0	2	0.7	3	1.0	
	かなり不十分	2	0.7	2	0.7	0	0.0	1	0.3	

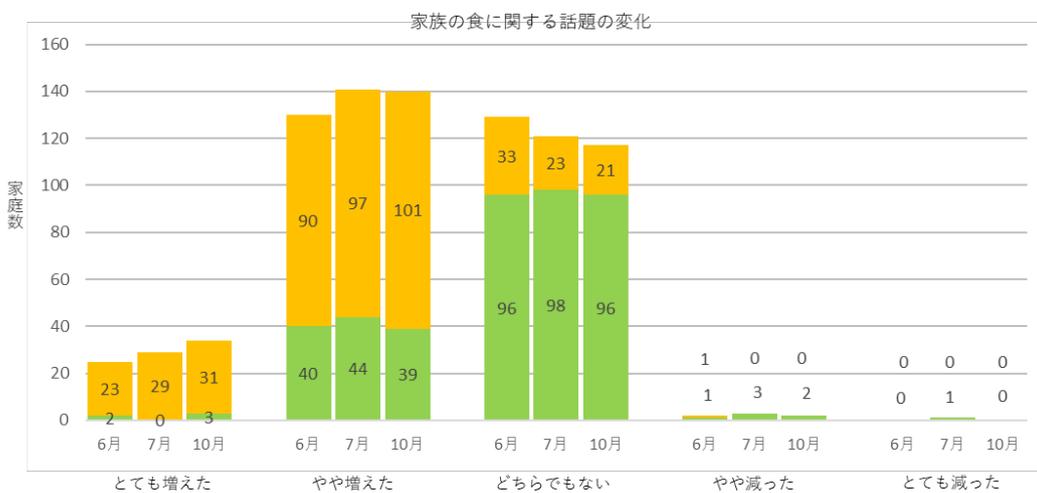
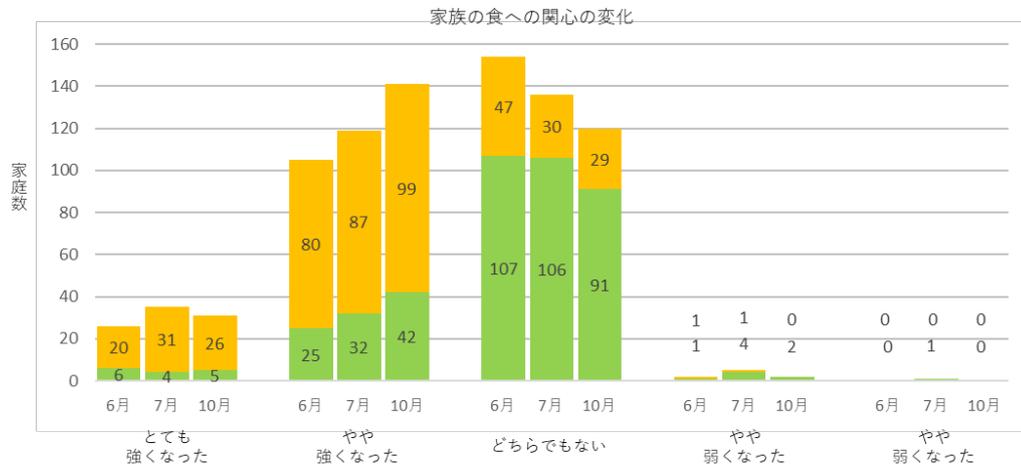
n=296

* 各項目の有効回答数に対する割合

† Friedman 検定

題等との関連は見られなかった。

また、本調査期間において、保護者の牛乳・乳製品の摂取頻度および摂取意欲に明らかな



学校給食を食べるようになって、子ども自ら食事や食に関する話題にすること
■ どちらでもない・「かなり」「やや」減った ■ 「かなり」「やや」増えた

図1 子どもが学校給食を食べるようになったことによる家族の変化

変化はなかった。牛乳のイメージとして、「脂質が多い」を選択する者が4月の37人(12.5%)から10月の48人(16.2%)($p=0.014$)に、「値段が高い」は4月の8人(2.7%)から10月の20人(6.8%)($p=0.005$)に有意に増えたが、給食と関連があるとは考えにくかった(表4)。

(7) 考察

給食開始から半年たった10月でも約7割の子どもが家庭で給食の話をしており、小学1年生にとって給食は大きな関心事であることが推察された。また、入学前の給食経験の有無や、食への関心の程度によって差はあるものの、学校給食が児童の食への関心や態度に影響を及ぼし、少なくとも開始から半年たった10月でもその影響が持続されていることが明らかになった。

表3 子どもが給食を食べるようになって、家族に変化があったと思うこと（自由記述例、記述数：6月35、10月26）*

項目	回答月	(記述数)	回答例
コミュニケーション	6月	(10)	その日の給食メニューについて地元産の食材や季節物の食材など食時に話題に上がる事が多くなりました。給食をきっかけに食材を購入しに家族で出掛けたこともあります。 美味しかった献立を教えてくれたり、会話の糸口になる。地元の物を使っている時も教えてくれて、子ども食べ物がどこから来るかなど食に興味を沸き、食べる大切さを知るきっかけになっていると思う。
	10月	(8)	松本市もったいない給食などテーマがある日は家庭で話題になるようになった。
栄養に配慮	6月	(6)	学校で魚が出る日の夕飯は肉のおかずにしたり、食材の種類をできるだけ多く摂るように心がけるようになった。 学校ばかりに頼らず家でもバランスよく料理をするようになりました。
	10月	(2)	食事のバランスを考えることに対して、考える気持ちが強くなった。
レパートリーの増加	6月	(6)	給食でおいしかったメニューを夕飯にリクエストされるようになった。料理のバリエーションが増えるため、また子どもが喜ぶので作っている。 給食の話題が増えた。家の食事のバリエーションが増えた。
	10月	(10)	学校で魚料理をおかわりするよ。とても美味しいよ！と言われます。私自身、魚調理が苦手なので献立はとても参考になります。
家族の行動変容	6月	(5)	息子は給食をいただくようになって、野菜をたくさん食べられるようになったのですが、その姿を見て、下の子どもががんばって食べてくれるようになってきました。 子どもがサバを食べられるようになって、サバが嫌いなお父さんも頑張っている!! 私が薄味を心がけるようになり、主人も、給食はこのくらいだという事を話すと、薄くても食べてくれるようになりました。
	10月	(1)	兄妹がマネをして、頑張って野菜を食べてくれるようになった。
知識の増加	6月	(2)	自宅では食べないメニューがあるため、食事についての知識が増えた。
	10月	(1)	給食のお陰で様々な食材に触れることができとても良い。
その他	6月	(6)	時間を意識して食べるようにしている。学校で食べるのが遅くなってしまうことが多いなので。
	10月	(5)	学校で野菜を摂れていると思うと安心している。 栄養バランスの良い給食なので、家で多少偏っていても、まあいいかと思ってしまう。

*回収された全調査票（6月686、10月532）から集計を行った

さらに、子どもが学校給食を食べるようになったことにより、家族の食への関心や話題が増え、学校給食が子どもの家族にも影響を及ぼすことが明らかになった。毎月の給食だよりは多くの家庭で読まれているが、それが家族に及ぼす影響は大きくはなく、子どもが自ら食事や食べ物のことを話す家庭の方が食への関心や食の話題が増加していた。家族により影響を与えやすいのは子どもが学校給食や食に関することを話題にすることだと考えられた。また、年上のきょうだいがいても、新たに1年生になった子どもの影響で家庭の食への関心や話題が増加していることが窺え、子どもの学年が進んでも、定期的な働きかけを継続することが有効であると推察された。

保護者の食意識については、給食との関連は明らかでなかったものの、4月から10月にかけて栄養バランスやカルシウム摂取を意識する保護者が増えていた。しかし、牛乳や乳製品に着目すると、それらの摂取頻度や摂取意欲に変化は見られなかった。また、今回配布したワークブックによる保護者の食意識などへの影響は、確認できなかった。今後は、子どもが家庭で給食や食のことをより話題にしていくようなスキームの構築とともに、行動変容をもたらす要因やそれに対応させた方策を模索していきたい。

表4 保護者の学校給食で牛乳を提供されていることについての考え及び牛乳のイメージ

	4月		6月		7月		10月		p値 [‡]	
	人	% [†]	人	% [†]	人	% [†]	人	% [†]		
学校給食で牛乳が提供されていることについて	とてもよい	192	66.4	203	70.2	211	71.3	210	71.4	0.004
	少しよい	42	14.5	36	12.5	40	13.5	44	15.0	
	どちらともいえない	42	14.5	36	12.5	31	10.5	29	9.9	
	あまりよくない	9	3.1	9	3.1	10	3.4	9	3.1	
	よくない	4	1.4	5	1.7	4	1.4	2	0.7	
牛乳のイメージ*	カルシウムが摂れる	267	90.2	260	87.8	270	91.2	268	90.5	0.243
	太る	16	5.4	20	6.8	27	9.1	23	7.8	0.103
	骨を丈夫にする	224	75.7	230	77.7	228	77.0	219	74.0	0.508
	身長がのびる	127	42.9	137	46.3	120	40.5	137	46.3	0.150
	お腹が痛くなる	69	23.3	68	23.0	66	22.3	64	21.6	0.821
	脂質が多い	37	12.5	32	10.8	47	15.9	48	16.2	0.014
	たんぱく質源になる	85	28.7	87	29.4	99	33.4	92	31.1	0.247
	子どもむき	42	14.2	36	12.2	34	11.5	33	11.1	0.481
	値段が高い	8	2.7	15	5.1	16	5.4	20	6.8	0.005

n=296

* 複数選択

† 「学校給食で牛乳が提供されていること」では有効回答数に対する割合、「牛乳のイメージ」では296人に対する割合を示した

‡ Friedman検定

(8) 参考文献

- 1) 駿藤晶子, 山本妙子, 吉岡有紀子, 他: 小学生の子を持つ保護者の世帯収入別にみた食生活状況に関する研究, 栄養学雑誌 78(4), 143-151, 2020
- 2) 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課: 学校給食実施状況調査 (平成30年5月1日現在), https://www.mext.go.jp/content/1413836_001_001.pdf, (2022年4月23日)
- 3) 越川絵里子, 奥田豊子, 村井陽子: 「給食を通じた食育」と健康や学習態度・学習意欲との関連性, 日本家政学会研究発表要旨集 59, 51-51, 2007
- 4) 朝比奈玲子, 吉原崇恵: 児童期の食行動形成における家庭での食事, 学校給食の特徴と役割, 日本家庭科教育学会大会・例会・セミナー研究発表要旨集 46, 49-49, 2003
- 5) Yoko Hosoyamada and Kimiko Miyahara: Trends in Intervention Studies on Food and Nutrition Education in Japan Utilizing the School Lunch - A Systematic Review, Jpn. J. Nutr. Diet., Vol.76 Supplement 1, S50-S63, 2018
- 6) 酒井美咲, 大江靖雄, 石田貴士, 他: 児童の平日と休日の昼食摂取状況に関する比較分析: 児童の食生活における学校給食の影響評価, 食と緑の科学 71, 17-27, 2017

5. 主な論文発表等

〔雑誌論文 計1件〕

- Yuko Naruse, Noko Hirota : School lunches Have the Potential to Improve Food Awareness not only for Children but also for Their Families, Asian Journal of Dietetics, 5(2-3), 53-61 (2023)

〔学会発表 計3件〕

- 成瀬祐子, 石澤美代子, 廣田直子 : 小学1年生とその家族の食に対する意識および態度に及ぼす学校給食提供の影響, 第16回日本給食経営管理学会学術総会, 2021年11月 (WEB)
- Yuko Naruse, Naoko Hirota : Influence of School Lunches on Dietary Consciousness and Attitudes among Families of First-grade Elementary School Children in Japan, the 8th Asian Congress of Dietetics, August, 2022 (Yokohama)
- Yuko Naruse, Naoko Hirota : Changes in food awareness and attitudes of Japanese first-year elementary school students who eat school lunches, as perceived by parents, 22nd IUNS-International Congress of Nutrition, December, 2022 (Tokyo)
-

〔図書 計0件〕

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松本大学人間健康学部 成瀬祐子

(2) 共同研究者

松本大学大学院健康科学研究科 廣田直子

家庭の食に関する質問票

ご家庭で、もっとも家族の食事の準備をされる方に、
ご回答をお願いします。

■注意事項

- ・質問内容をよく読んで、ご回答ください。
- ・記入もれがないよう、ご注意ください。
- ・右の記入例のように、**濃い黒の鉛筆で枠内を隙間なく塗りつぶしてください。**

【記入例】

良い例	わるい例
●	○ ○ ○

■質問の答え方

- ・つぎの【回答例】のように、あてはまる○印(または□印)を塗りつぶして回答してください。

【回答例1 (ひとつ選ぶ場合)】

●	○	○
あてはまる	どちらでも ない	あてはまら ない

【回答例2 (あてはまるものすべてを選ぶ場合)】

<input checked="" type="checkbox"/> ごはん	<input checked="" type="checkbox"/> いも類
<input type="checkbox"/> パン	<input type="checkbox"/> 砂糖類
<input checked="" type="checkbox"/> めん類	<input type="checkbox"/> 豆類

なお回答例のように○印の場合はひとつのみ、□印の場合はあてはまるものすべてを塗りつぶしてください。

- ・ や () などの数字や番号・具体例などを枠内に記入していただく質問については、なるべくくわしく、明確に記入してください。

お子様のクラス 組 [右詰で記載]

お子様の名簿番号 番 [右詰で記載]

I. あなたご自身について、お答えください。

1. あなたの年代をお選びください。[ひとつ回答]

- 20代 30代 40代 50代 60代以上

2. 今年の春に小学校に入学されたお子様との関係を、次からお選びください。[ひとつ回答]

- 父 母 祖父 祖母 その他()

3. あなた(またはご家庭)の普段の食事について、おたずねします。

左右で対となっている次の言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。

[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなりしている	a. ややしている	z. ややしていない	z. ほとんどしていない	
a. 栄養バランスを意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 栄養バランスは意識していない
a. 塩分を摂りすぎないように意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 塩分の摂りすぎは意識していない
a. 野菜を摂るよう意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 野菜の量は意識していない
a. カルシウムを摂るよう意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. カルシウムの摂取は意識していない

4. 次の7品目について、朝・夕・間食(昼食は除く)において、家であなたご自身が1週間(7日間)にそれぞれ何回くらい食べるかお選びください。ご飯(お米)を毎日朝食と夕食で食べるなら14回になるので、「8～14回」と答えてください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	0～3回	4～7回	8～14回	15回以上
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パ ン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
麵 類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
主 菜 (肉、魚、卵などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
副 菜 (野菜、芋、海藻などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛 乳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛乳以外の乳製品 (チーズ、ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5. あなたご自身の食べる意欲についてお答えください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	積極的に 食べる	あるから 食べる	我慢して 食べる	食べない	その他	具体的な内容 (その他を選 んだ方のみ)
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	→()				
パ ン	<input type="radio"/>	→()				
麵 類	<input type="radio"/>	→()				
主 菜 (肉、魚、卵など) (が中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
副 菜 (野菜、芋、海藻な どが中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
牛 乳	<input type="radio"/>	→()				
牛乳以外の乳製品 (チーズ、 ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	→()				

6. あなたは牛乳が好きですか？ [ひとつ回答]

とても好き 少し好き あまり好きではない 嫌い

7. 牛乳は健康によいと思いますか？ [ひとつ回答]

とてもよい 少しよい あまりよくない よくない

8. 牛乳にどのようなイメージをお持ちですか？ [あてはまるものをすべて回答]

- カルシウムが摂れる 太る 骨を丈夫にする
 身長がのびる お腹が痛くなる 脂質が多い
 たんぱく質源になる 子どもむき 値段が高い
 その他()

14. 学校給食でほぼ毎日、牛乳が提供されていることについて、どのように考えますか？ [ひとつ回答]

- とてもよい 少しよい どちらともいえない
 あまりよくない よくない

牛乳提供に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

15. 松本市では学校給食のご飯に金芽米を使用していますが、そのことについてどのように考えますか？

[ひとつ回答]

- とてもよい 少しよい どちらともいえない
 あまりよくない よくない

金芽米提供に関するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

II. あなたのご家庭についてお尋ねします。

16. 対象児童からみた同居家族を選んで、複数の場合は人数を記入してください。

[あてはまるものをすべて回答]

	祖父	祖母	父	母	兄	姉	弟	妹	その他
	<input type="checkbox"/>								
人数	()	()			()	()	()	()	()

17. 朝食の状況について、最も近いものを選んでください。[ひとつ回答]

- 食べない
 家族全員と一緒に食べることが多い
 家族全員ではないが大人と子どもと一緒に食べるが多い
 子どもだけで食べるが多い
 子どもが1人で食べるが多い

18. 夕食の状況について、最も近いものを選んでください。[ひとつ回答]

- 食べない
 家族全員と一緒に食べるが多い
 家族全員ではないが大人と子どもと一緒に食べるが多い
 子どもだけで食べるが多い
 子どもが1人で食べるが多い

19. 最近、家族の中で、食に関することが話題になりますか？ [ひとつ回答]

- とてもよくなる 時々なる あまりならない まったくならない

20. 家庭の経済状況について 100 点満点で普通を 50 点としたときに、あなたの家庭の経済状況は何点だと思いますか。1 ~ 100 のいずれかの数字を整数で記入してください。[右詰めで記載]

--	--	--

点 / 100 点

27. 家でお子様が、朝・夕・間食(昼食は除く)において、1週間(7日間)にそれぞれ何回くらい食べるかをお答えください。例えば、ご飯(お米)を毎日朝食と夕食で食べるなら14回になるので、「8～14回」とお答えください。

[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	0～3回	4～7回	8～14回	15回以上
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パ ン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
麵 類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
主 菜 (肉、魚、卵などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
副 菜 (野菜、芋、海藻などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛 乳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛乳以外の乳製品 (チーズ、ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

28. お子様の食べる意欲についてお答えください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	積極的に 食べる	あるから 食べる	我慢して 食べる	食べない	その他	具体的な内容 (その他を選 んだ方のみ)
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	→()				
パ ン	<input type="radio"/>	→()				
麵 類	<input type="radio"/>	→()				
主 菜 (肉、魚、卵など が中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
副 菜 (野菜、芋、海藻な どが中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
牛 乳	<input type="radio"/>	→()				
牛乳以外の乳製品 (チーズ、 ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	→()				

これで質問は終了です。
ご回答ありがとうございました。

家庭の食に関する質問票

ご家庭で、もっとも家族の食事の準備をされる方に、
ご回答をお願いします。

■注意事項

- ・質問内容をよく読んで、ご回答ください。
- ・記入もれがないよう、ご注意ください。
- ・右の記入例のように、**濃い黒の鉛筆で枠内を隙間なく塗りつぶしてください。**

【記入例】

良い例	わるい例
●	○ ○ ○

■質問の答え方

- ・つぎの【回答例】のように、あてはまる○印(または□印)を塗りつぶして回答してください。

【回答例1 (ひとつ選ぶ場合)】

●	○	○
あてはまる	どちらでもない	あてはまらない

【回答例2 (あてはまるものすべてを選ぶ場合)】

<input checked="" type="checkbox"/> ごはん	<input checked="" type="checkbox"/> いも類
<input type="checkbox"/> パン	<input type="checkbox"/> 砂糖類
<input checked="" type="checkbox"/> めん類	<input type="checkbox"/> 豆類

なお回答例のように○印の場合はひとつのみ、□印の場合はあてはまるものすべてを塗りつぶしてください。

- ・ や () などの数字や番号・具体例などを枠内に記入していただく質問については、なるべくくわしく、明確に記入してください。

お子様のクラス 組 [右詰で記載]

お子様の名簿番号 番 [右詰で記載]

I. あなたご自身について、お答えください。

1. あなたの年代をお選びください。[ひとつ回答]

- 20代 30代 40代 50代 60代以上

2. 今年の春に小学校に入学されたお子様との関係を、次からお選びください。[ひとつ回答]

- 父 母 祖父 祖母 その他()

3. あなた(またはご家庭)の普段の食事について、おたずねします。

左右で対となっている次の言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。

[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなりしている	a. ややしている	z. ややしていない	z. ほとんどしていない	
a. 栄養バランスを意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 栄養バランスは意識していない
a. 塩分を摂りすぎないように意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 塩分の摂りすぎは意識していない
a. 野菜を摂るように意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 野菜の量は意識していない
a. カルシウムを摂るように意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. カルシウムの摂取は意識していない

4. 次の7品目について、朝・夕・間食(昼食は除く)において、家であなたご自身が1週間(7日間)にそれぞれ何回くらい食べるかお選びください。ご飯(お米)を毎日朝食と夕食で食べるなら14回になるので、「8～14回」と答えてください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	0~3回	4~7回	8~14回	15回以上
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パ ン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
麵 類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
主 菜 (肉、魚、卵などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
副 菜 (野菜、芋、海藻などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛 乳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛乳以外の乳製品 (チーズ、ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5. あなたご自身の食べる意欲についてお答えください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	積極的に 食べる	あるから 食べる	我慢して 食べる	食べない	その他	具体的な内容 (その他を選 んだ方のみ)
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	→()				
パ ン	<input type="radio"/>	→()				
麵 類	<input type="radio"/>	→()				
主 菜 (肉、魚、卵など) (が中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
副 菜 (野菜、芋、海藻な どが中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
牛 乳	<input type="radio"/>	→()				
牛乳以外の乳製品 (チーズ、 ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	→()				

6. あなたは牛乳が好きですか？ [ひとつ回答]

とても好き 少し好き あまり好きではない 嫌い

7. 牛乳は健康によいと思いますか？ [ひとつ回答]

とてもよい 少しよい あまりよくない よくない

8. 牛乳にどのようなイメージをお持ちですか？ [あてはまるものをすべて回答]

- カルシウムが摂れる 太る 骨を丈夫にする
 身長がのびる お腹が痛くなる 脂質が多い
 たんぱく質源になる 子どもむき 値段が高い
 その他()

9. 松本市の学校給食にどのようなイメージをお持ちですか？ 左右で対となっている次の言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなり	a. やや	どちらでもない	z. やや	z. かなり	
a. おいしい	<input type="radio"/>	z. おいしくない				
a. 味が濃い	<input type="radio"/>	z. 味が薄い				
a. 量が多い	<input type="radio"/>	z. 量が少ない				
a. 健康的である	<input type="radio"/>	z. 健康的でない				
a. バリエーションにとんでいる	<input type="radio"/>	z. 単調である				
a. 食育の題材として優れている	<input type="radio"/>	z. 食育の題材として不十分				

10. 学校給食でほぼ毎日、牛乳が提供されていることについて、どのように考えますか？ [ひとつ回答]

とてもよい 少しよい どちらともいえない
 あまりよくない よくない

11. 松本市では学校給食のご飯に金芽米を使用していますが、そのことについてどのように考えますか？ [ひとつ回答]

とてもよい 少しよい どちらともいえない
 あまりよくない よくない

12. あなたは、学校給食の毎月の献立を見ていますか？ [ひとつ回答]

強い関心をもって見ている 少し関心をもって見ている
 あまり関心はないが、一応見ている ほとんど見ない

13. あなたは、給食だより(毎月の献立の下段)を読んでいますか？ [ひとつ回答]

強い関心をもって読んでいる 少し関心をもって読んでいる
 あまり関心はないが、一応読んでいる ほとんど読まない

II. あなたのご家庭についてお尋ねします。

14. お子様が学校で給食を食べるようになって、家族に変化があったと思うことがありますか？
左右で対となっている言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。

[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなり	a. やや	どちらでもない	z. やや	z. かなり	
a. 食への関心が以前より強くなった	<input type="radio"/>	z. 食への関心が以前より弱くなった				
a. 食に関する話題が増えた	<input type="radio"/>	z. 食に関する話題が減った				

15. 上記のほかに、お子様が学校で給食を食べるようになって、家族に変化があったと思うことがあれば、自由に書いてください。また、その理由として思い当たることがあれば書いてください。

19. 家でお子様が、朝・夕・間食(昼食は除く)において、1週間(7日間)にそれぞれ何回くらい食べるかをお答えください。例えば、ご飯(お米)を毎日朝食と夕食で食べるなら14回になるので、「8～14回」とお答えください。

[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	0～3回	4～7回	8～14回	15回以上
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パ ン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
麵 類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
主 菜 (肉、魚、卵などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
副 菜 (野菜、芋、海藻などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛 乳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛乳以外の乳製品 (チーズ、ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

20. お子様の食べる意欲についてお答えください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	積極的に 食べる	あるから 食べる	我慢して 食べる	食べない	その他	具体的な内容 (その他を選 んだ方のみ)
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	→()				
パ ン	<input type="radio"/>	→()				
麵 類	<input type="radio"/>	→()				
主 菜 (肉、魚、卵など が中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
副 菜 (野菜、芋、海藻な どが中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
牛 乳	<input type="radio"/>	→()				
牛乳以外の乳製品 (チーズ、 ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	→()				

21. お子様は、学校給食の毎月の献立を見えていますか？ [ひとつ回答]

- 強い関心をもって見ている 少し関心をもって見ている
 あまり関心はないが、一応見ている ほとんど見ない
 わからない

22. お子様は、給食だより(毎月の献立の下段)を読んでいますか？ [ひとつ回答]

- 強い関心をもって読んでいる ○ 少し関心をもって読んでいる
 ○ あまり関心はないが、一応読んでいる ○ ほとんど読まない
 ○ わからない

23. お子様在学校で給食を食べるようになって、お子様自身に変化があったと思うことがありますか？
 左右で対となっている言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。

[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなり	a. やや	どちらでもない	z. やや	z. かなり	
a. 学校給食に関することを話す	<input type="radio"/>	z. 学校給食のことは話さない				
a. 給食だよりに関することを話題にする	<input type="radio"/>	z. 給食だよりに関することは話題にしない				
a. 家での食事量が増えた	<input type="radio"/>	z. 家での食事量が減った				
a. 食べることや食べ物への関心が強くなった	<input type="radio"/>	z. 食べることや食べ物への関心が弱くなった				
a. 食事や食べ物のことを自ら話題にすることが増えた	<input type="radio"/>	z. 食事や食べ物のことを自ら話題にすることが減った				
a. 好き嫌いが減った	<input type="radio"/>	z. 好き嫌いが増えた				
a. よく噛んで食べるようになった	<input type="radio"/>	z. あまりかまずに食べるようになった				
a. 食事のマナーが良くなった	<input type="radio"/>	z. 食事のマナーが悪くなった				
a. 食事を楽しそうに食べるようになった	<input type="radio"/>	z. 食事をつまらなそうに食べるようになった				

24. 上記のほかに、お子様が学校で給食を食べるようになって、お子様自身に変化があったと思うことがあれば、自由に書いてください。また、その理由として思い当たることがあれば書いてください。

これで質問は終了です。
 ご回答ありがとうございました。

家庭の食に関する質問票

ご家庭で、もっとも家族の食事の準備をされる方に、
ご回答をお願いします。

■注意事項

- ・質問内容をよく読んで、ご回答ください。
- ・記入もれがないよう、ご注意ください。
- ・右の記入例のように、**濃い黒の鉛筆で枠内を隙間なく塗りつぶしてください。**

【記入例】

良い例	わるい例
●	○ ○ ○

■質問の答え方

- ・つぎの【回答例】のように、あてはまる○印(または□印)を塗りつぶして回答してください。

【回答例1 (ひとつ選ぶ場合)】

●	○	○
あてはまる	どちらでも ない	あてはまら ない

【回答例2 (あてはまるものすべてを選ぶ場合)】

<input checked="" type="checkbox"/> ごはん	<input checked="" type="checkbox"/> いも類
<input type="checkbox"/> パン	<input type="checkbox"/> 砂糖類
<input checked="" type="checkbox"/> めん類	<input type="checkbox"/> 豆類

なお回答例のように○印の場合はひとつのみ、□印の場合はあてはまるものすべてを塗りつぶしてください。

- ・ や () などの数字や番号・具体例などを枠内に記入していただく質問については、なるべくくわしく、明確に記入してください。

お子様のクラス 組 [右詰で記載]

お子様の名簿番号 番 [右詰で記載]

I. あなたご自身について、お答えください。

1. あなたの年代をお選びください。[ひとつ回答]

- 20代 30代 40代 50代 60代以上

2. 今年の春に小学校に入学されたお子様との関係を、次からお選びください。[ひとつ回答]

- 父 母 祖父 祖母 その他()

3. あなた(またはご家庭)の普段の食事について、おたずねします。

左右で対となっている次の言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。

[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなりしている	a. ややしている	z. ややしていない	z. ほとんどしていない	
a. 栄養バランスを意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 栄養バランスは意識していない
a. 塩分を摂りすぎないように意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 塩分の摂りすぎは意識していない
a. 野菜を摂るように意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 野菜の量は意識していない
a. カルシウムを摂るように意識している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. カルシウムの摂取は意識していない

4. 次の7品目について、朝・夕・間食(昼食は除く)において、家であなたご自身が1週間(7日間)にそれぞれ何回くらい食べるかお選びください。ご飯(お米)を毎日朝食と夕食で食べるなら14回になるので、「8~14回」と答えてください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	0~3回	4~7回	8~14回	15回以上
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パ ン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
麵 類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
主 菜 (肉、魚、卵などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
副 菜 (野菜、芋、海藻などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛 乳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛乳以外の乳製品 (チーズ、ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5. あなたご自身の食べる意欲についてお答えください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	積極的に 食べる	あるから 食べる	我慢して 食べる	食べない	その他	具体的な内容 (その他を選 んだ方のみ)
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	→()				
パ ン	<input type="radio"/>	→()				
麵 類	<input type="radio"/>	→()				
主 菜 (肉、魚、卵など) が中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
副 菜 (野菜、芋、海藻な どが中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
牛 乳	<input type="radio"/>	→()				
牛乳以外の乳製品 (チーズ、 ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	→()				

6. あなたは牛乳が好きですか？ [ひとつ回答]

とても好き 少し好き あまり好きではない 嫌い

7. 牛乳は健康によいと思いますか？ [ひとつ回答]

とてもよい 少しよい あまりよくない よくない

8. 牛乳にどのようなイメージをお持ちですか？ [あてはまるものをすべて回答]

- カルシウムが摂れる 太る 骨を丈夫にする
 身長がのびる お腹が痛くなる 脂質が多い
 たんぱく質源になる 子どもむき 値段が高い
 その他()

9. あなたは金芽米を知っていますか？ [ひとつ回答]

はい いいえ

→※次ページの 10,11 は、9 で「はい」と答えた方のみお答えください。

10. 【9. で「はい」と答えた方のみ】金芽米について、どのようなイメージをお持ちですか？
[あてはまるものをすべて回答]

- 健康によい 栄養成分が補える ダイエットになる
 おいしい おいしくない 価格が高い
 消化吸収がよくない その他()

11. 【9. で「はい」と答えた方のみ】あなたは金芽米を食べたことがありますか？ [ひとつ回答]

- 日常的に食べている たまに食べる
 食べたことはある 食べたことはない

12. 松本市の学校給食にどのようなイメージをお持ちですか？ 左右で対となっている次の言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなり	a. やや	どちらでもない	z. やや	z. かなり	
a. おいしい	<input type="radio"/>	z. おいしくない				
a. 味が濃い	<input type="radio"/>	z. 味が薄い				
a. 量が多い	<input type="radio"/>	z. 量が少ない				
a. 健康的である	<input type="radio"/>	z. 健康的でない				
a. バリエーションにとんでいる	<input type="radio"/>	z. 単調である				
a. 食育の題材として優れている	<input type="radio"/>	z. 食育の題材として不十分				

13. 学校給食でほぼ毎日、牛乳が提供されていることについて、どのように考えますか？ [ひとつ回答]

- とてもよい 少しよい どちらともいえない
 あまりよくない よくない

14. 松本市では学校給食のご飯に金芽米を使用していますが、そのことについてどのように考えますか？
[ひとつ回答]

- とてもよい 少しよい どちらともいえない
 あまりよくない よくない

15. あなたは、学校給食の毎月の献立を見えていますか？ [ひとつ回答]

- 強い関心をもって見ている ○ 少し関心をもって見ている
○ あまり関心はないが、一応見ている ○ ほとんど見ない

16. あなたは、給食だより(毎月の献立の下段)を読んでいますか？ [ひとつ回答]

- 強い関心をもって読んでいる ○ 少し関心をもって読んでいる
○ あまり関心はないが、一応読んでいる ○ ほとんど読まない

II. あなたのご家庭についてお尋ねします。

17. お子様在学校で給食を食べることによって、家族に変化があったと思うことがありますか？
左右で対となっている言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。
[対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなり	a. やや	どちらでもない	z. やや	z. かなり	
a. 食への関心が以前より強くなった	<input type="radio"/>	z. 食への関心が以前より弱くなった				
a. 食に関する話題が増えた	<input type="radio"/>	z. 食に関する話題が減った				

18. 上記のほかに、お子様が学校で給食を食べるようになって、家族に変化があったと思うことがあれば、自由に書いてください。また、その理由として思い当たることがあれば書いてください。

19. 朝食の状況について、最も近いものを選んでください。 [ひとつ回答]

- 食べない
○ 家族全員で一緒に食べることが多い
○ 家族全員ではないが大人と子どもと一緒に食べるが多い
○ 子どもだけで食べるが多い
○ 子どもが1人で食べるが多い

20. 夕食の状況について、最も近いものを選んでください。[ひとつ回答]

- 食べない
- 家族全員と一緒に食べることが多い
- 家族全員ではないが大人と子どもと一緒に食べるが多い
- 子どもだけで食べるが多い
- 子どもが1人で食べるが多い

Ⅲ. 1年生のお子様について、お答えください。

21. お子様の最近の体調について、最も近いと思うものを選んでください。

[各項目ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなり	a. やや	z. やや	z. かなり	
a. 便秘ではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 便秘である
a. 下痢ではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 下痢である
a. 肌荒れはない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 肌荒れがある
a. 食欲がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 食欲がない
a. 活動的である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 活動的ではない
a. 体調は良好である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	z. 体調を崩しやすい

22. お子様は普段、朝食を食べますか？ [ひとつ回答]

- 毎日食べる
- 週1～2回食べない日がある
- 週3～5回食べない日がある
- 週6回以上食べない日がある

23. お子様は普段、夕食を食べますか？ [ひとつ回答]

- 毎日食べる
- 週1～2回食べない日がある
- 週3～5回食べない日がある
- 週6回以上食べない日がある

24. 家でお子様が、朝・夕・間食(昼食は除く)において、1週間(7日間)にそれぞれ何回くらい食べるかをお答えください。例えば、ご飯(お米)を毎日朝食と夕食で食べるなら14回になるので、「8～14回」とお答えください。

[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	0～3回	4～7回	8～14回	15回以上
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パ ン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
麵 類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
主 菜 (肉、魚、卵などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
副 菜 (野菜、芋、海藻などが中心のおかず)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛 乳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
牛乳以外の乳製品 (チーズ、ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

25. お子様の食べる意欲についてお答えください。[各品目ごとに、ひとつずつ回答]

	積極的に 食べる	あるから 食べる	我慢して 食べる	食べない	その他	具体的な内容 (その他を選 んだ方のみ)
ご 飯 (お米)	<input type="radio"/>	→()				
パ ン	<input type="radio"/>	→()				
麵 類	<input type="radio"/>	→()				
主 菜 (肉、魚、卵など が中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
副 菜 (野菜、芋、海藻な どが中心のおかず)	<input type="radio"/>	→()				
牛 乳	<input type="radio"/>	→()				
牛乳以外の乳製品 (チーズ、 ヨーグルトなど)	<input type="radio"/>	→()				

26. お子様は、学校給食の毎月の献立を見えていますか？ [ひとつ回答]

- 強い関心をもって見ている 少し関心をもって見ている
 あまり関心はないが、一応見ている ほとんど見ない
 わからない

27. お子様は、給食だより(毎月の献立の下段)を読んでいますか? [ひとつ回答]

- 強い関心をもって読んでいる ○ 少し関心をもって読んでいる
 ○ あまり関心はないが、一応読んでいる ○ ほとんど読まない
 ○ わからない

28. お様が学校で給食を食べることによって、お子様自身に変化があったと思うことがありますか?
 左右で対となっている言葉について、あなたの印象に最も近いものを選んでください。
 [対の言葉ごとに、ひとつずつ回答]

	a. かなり	a. やや	どちらでもない	z. やや	z. かなり	
a. 学校給食に関することを話す	<input type="radio"/>	z. 学校給食のことは話さない				
a. 給食だよりに関することを話題にする	<input type="radio"/>	z. 給食だよりに関することは話題にしない				
a. 家での食事量が増えた	<input type="radio"/>	z. 家での食事量が減った				
a. 食べることや食べ物への関心が強くなった	<input type="radio"/>	z. 食べることや食べ物への関心が弱くなった				
a. 食事や食べ物のことを自ら話題にすることが増えた	<input type="radio"/>	z. 食事や食べ物のことを自ら話題にすることが減った				
a. 好き嫌いが減った	<input type="radio"/>	z. 好き嫌いが増えた				
a. よく噛んで食べるようになった	<input type="radio"/>	z. あまりかまずに食べるようになった				
a. 食事のマナーが良くなった	<input type="radio"/>	z. 食事のマナーが悪くなった				
a. 食事を楽しそうに食べるようになった	<input type="radio"/>	z. 食事をつまらなそうに食べるようになった				

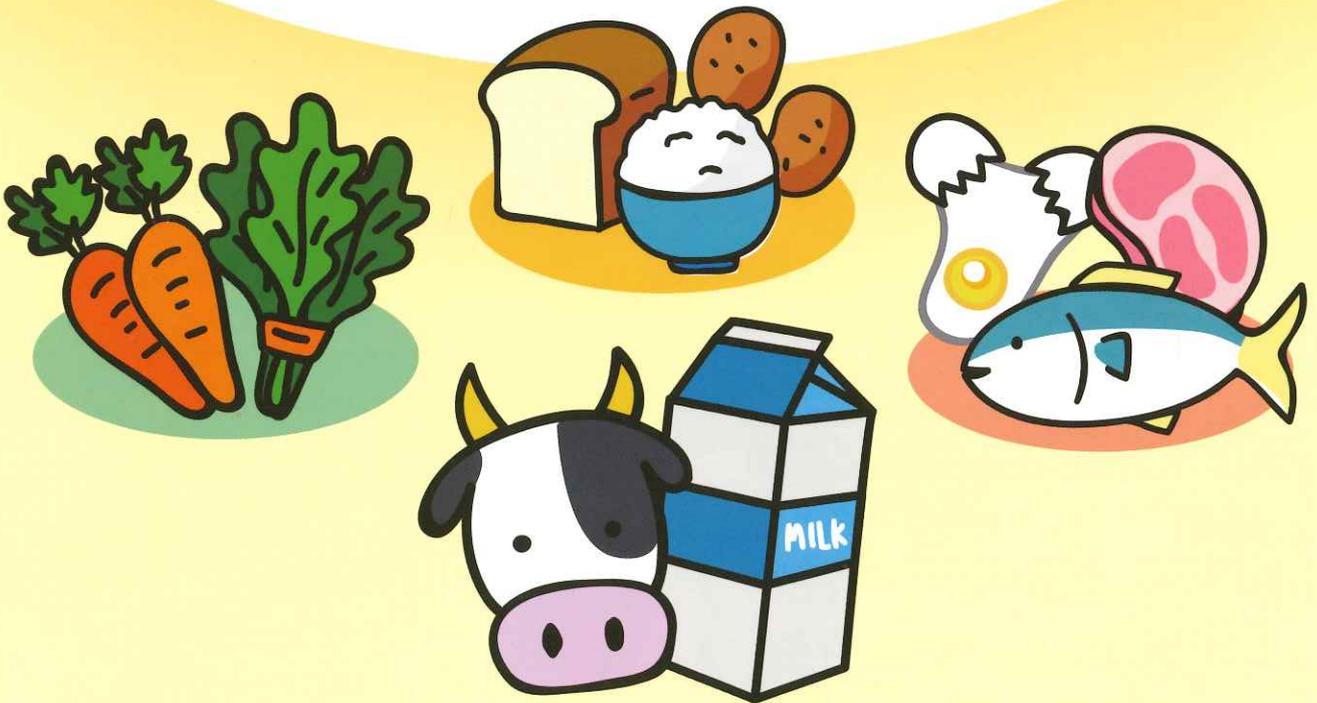
29. 上記のほかに、お子様が学校で給食を食べるようになって、お子様自身に変化があったと思うことがあれば、自由に書いてください。また、その理由として思い当たることがあれば書いてください。

これで質問は終了です。

複数回にわたりご協力いただき、誠にありがとうございました。



なるための
ノート



たべもののはたらきとぎゅうにゅう

たべものの はたらき

たべものは、

たべたときの からだのなかでの おもなはたらきによって、

3つのグループ

あか

き

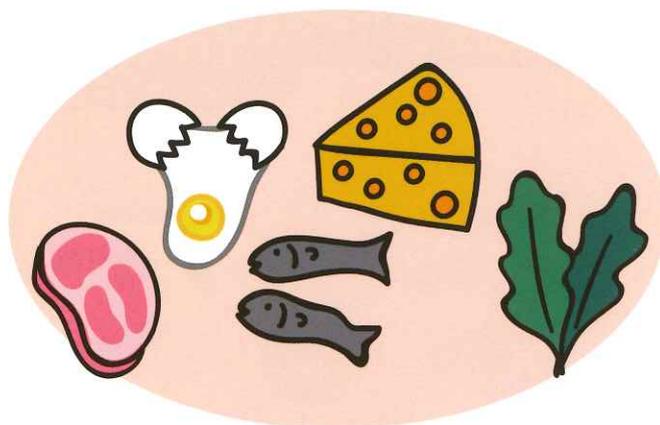
みどり

にわけることができます。

あかいろのたべもの



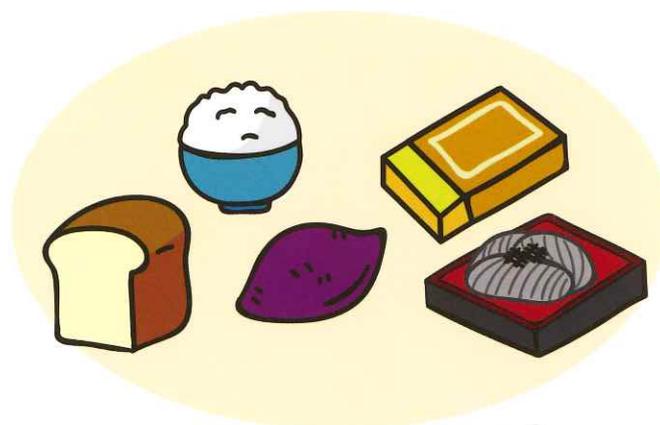
「ち」や「にく」、
「ほね」など、
からだをくみだてる
ざいりょうに
なります。



きいろのたべもの



からだやあたまを
うごかすための、
「ねつ」や「力」を
つくるはたらきもの
です。



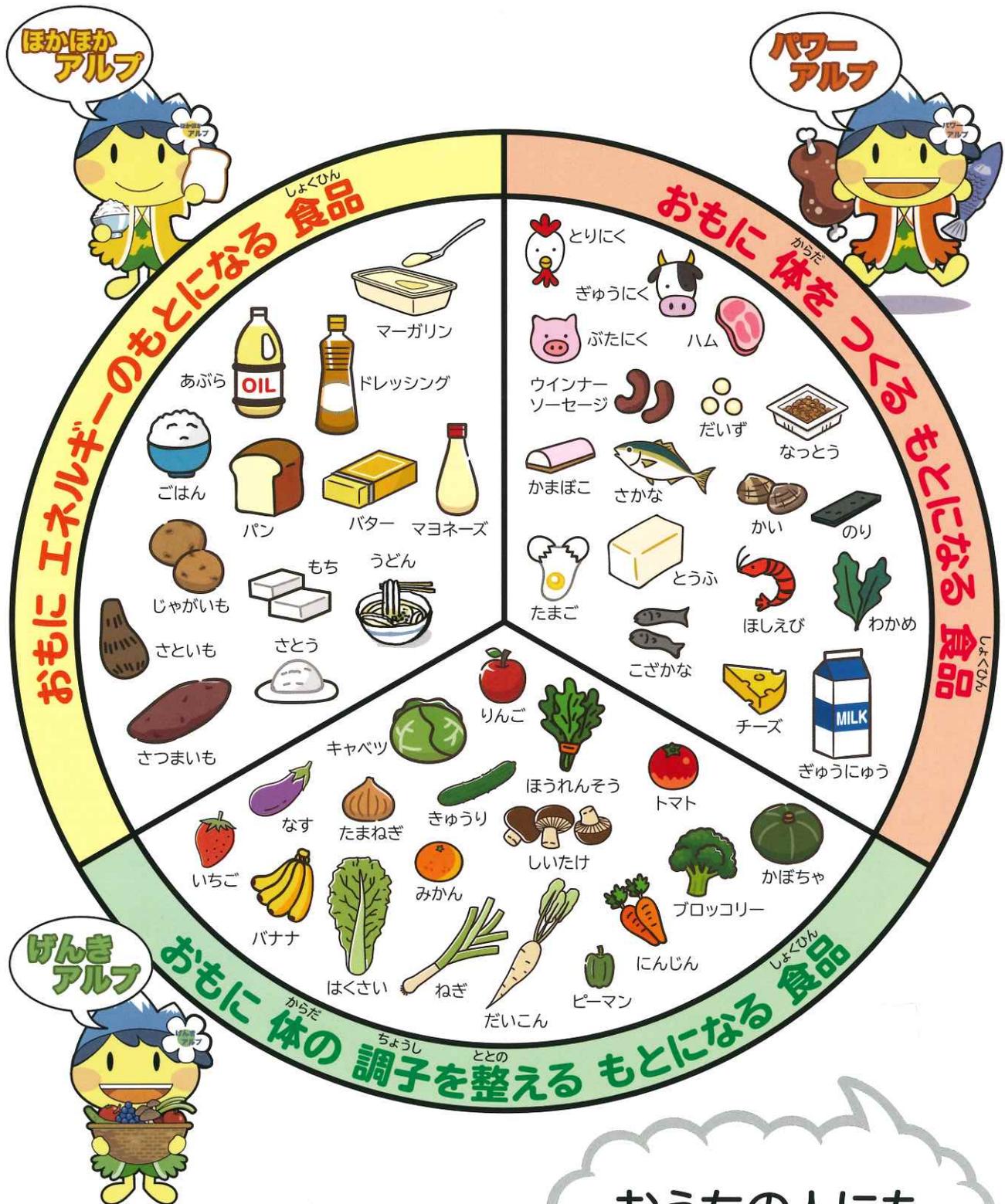
みどりいろのたべもの



びょうきから
まもったり、
おなかのなかを
きれいにする戦士に
なってくれます。



どんなたべものがあるか、見てみよう



おうちの人にも
おしえてあげてね

たべものシールを、いろのグループの「はこ」にわけて、はりつけましょう

あかいろのたべもの



きいろのたべもの



みどりいろのたべもの



トマトは赤いいろをしているけれど、赤のたべもののグループではありません。気をつけて!



できたかな? **おうちの人と いっしょに かくにんしてね**

ぎゅうにゅうの えいようパワー

カルシウム

ほかのたべものに入っているカルシウムより、からだにとりこみやすい、すぐれもの。

たんぱくしつ

「ち」や「にく」になります。げん気のもとになります。

ししつ

からだやあたまをうごかすための、「ねつ」や「力」をつくります。



ビタミン^{えー}A

かぜなどのびょうきからまもってくれます。

ビタミン^{びーつー}B2

せいちょうをたすけてくれます。

ぎゅうにゅうには、「ほね」や「は」をじょうぶにするカルシウムがたくさんふくまれています。

じょうぶなからだをつくるためには、こどものときに、しっかりカルシウムをとることがだいじです。

きゅうしょくの
ない日も、のんでね

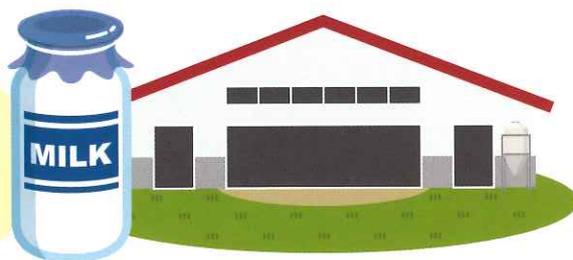


ぎゅうにゅうは、どこからくるの？



おみせや、
みんなのがっこうに
はこばれます。

みんながぎゅうにゅうを
おいしくのめるように、
こうじょうでちょうせいします。



しばったぎゅうにゅうは、
ぎゅうにゅうようのトラックで、
こうじょうにはこばれます。

おかあさんうしはまい日、
みどりの草なら 50~60 kg、
ほした草なら 15 kg^{キログラム}たべるよ。
そして、ぎゅうにゅうびん
100 ~ 150 本ぶんの
ぎゅうにゅうをだすんだ！



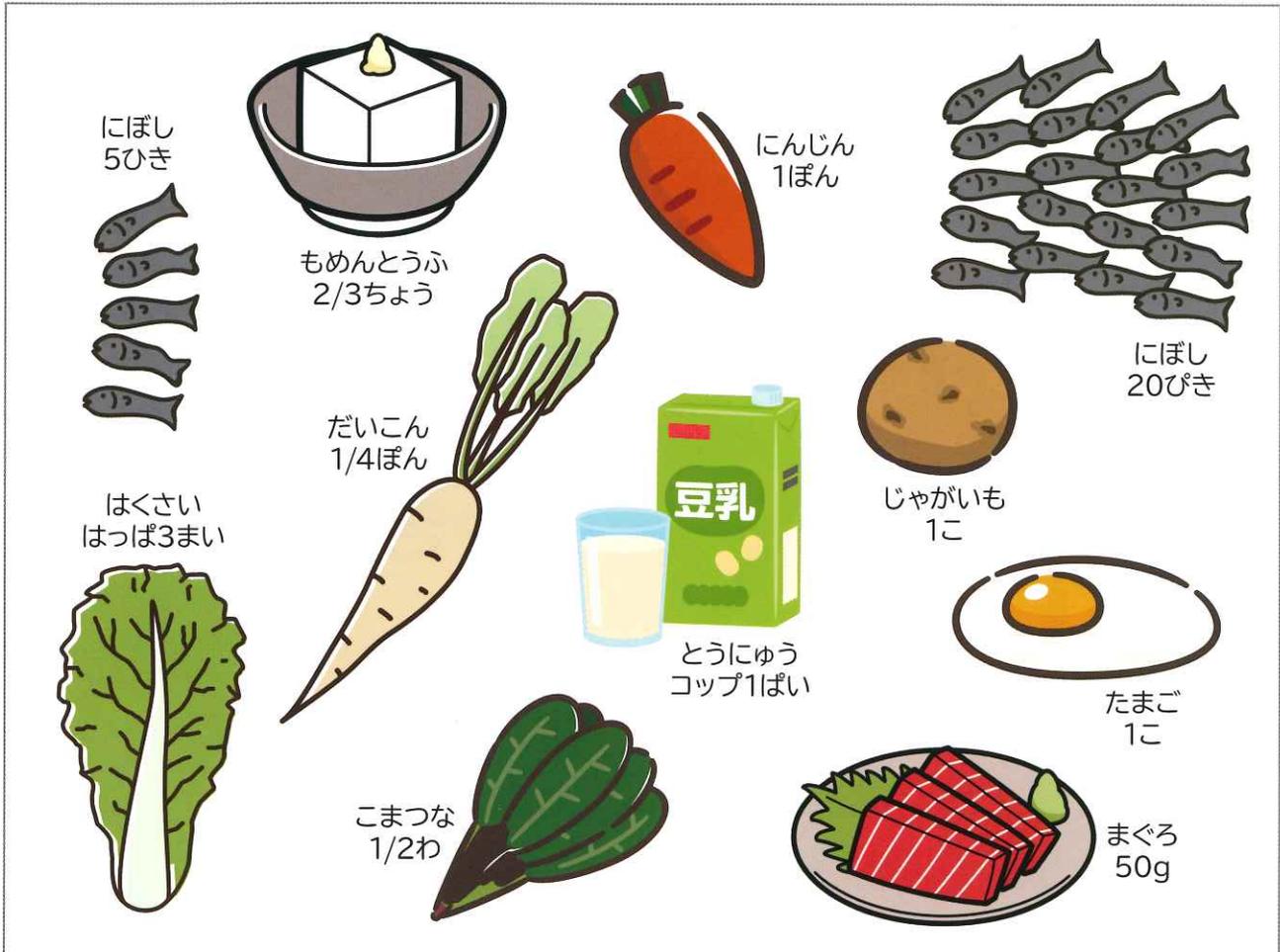
ぎゅうにゅうは、子どものうしのごはんです。
わたしたちは、それを わけてもらって、まい日のおことができます。

ぎゅうにゅうクイズ



だい
1
もん

ぎゅうにゅう1本ぶんとおなじくらいの
カルシウムがあるのはどれ？
3つえらんでね。

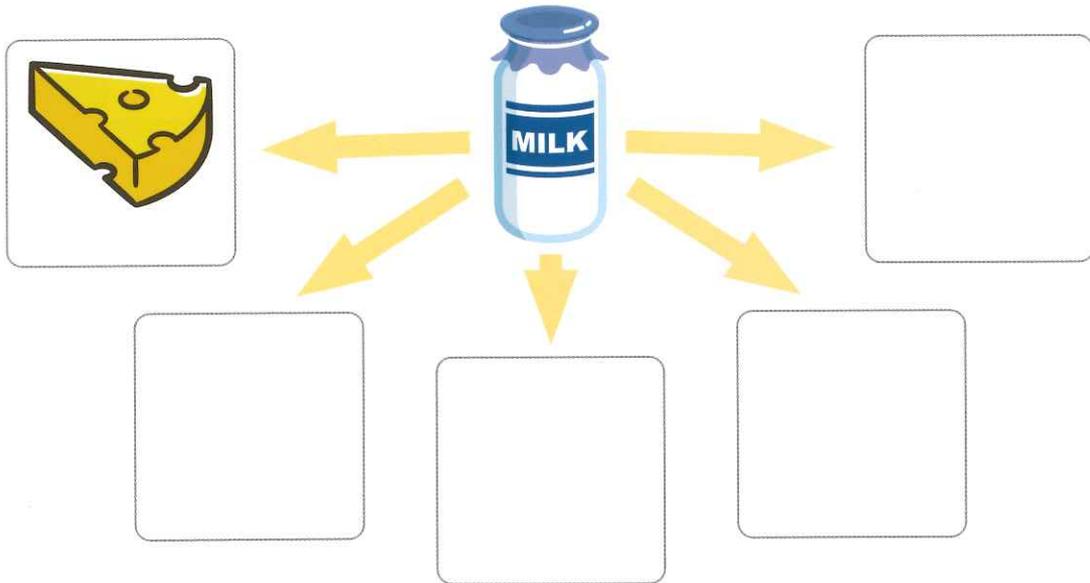


ぎゅうにゅうのカルシウムのすごいところは、
ほかのたべもののカルシウムより、
からだにとりこみやすいこと。
だから、まい日のんでほしいんだ。



だい
2
もん

ぎゅうにゅうから できるものをさがしてみよう
いくつこたえることができたかな？
おうちの人に見せてあげてね。



ワークシートの かきかた

日にちと よう日 を かきます

ひにち	2 日		
よう日	月	よう日	
しょくじ	あさ	ひる	ゆう
きいろのたべもの			
あかいろのたべもの			
みどりいろのたべもの			

たべたものの グループ に いろ を めります

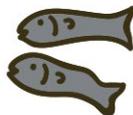
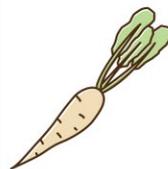
ひにち	2 日		
よう日	月	よう日	

ぎゅうにゅうを のんだぶんだけ
いろを めります

クイズのこたえ

- だい1もん にぼし20ぴき、もめんとうふ2/3ちょう、こまつな1/2わ
だい2もん チーズ、ヨーグルト、生クリーム、バター、アイスクリーム など

たべものシール



		なまえ
くみ	ばん	



うらもあります

なつ休みがおわったら、
たんにんの先生に、
だしてください

きょうのしょくじは、3つのいろがそろっていたかな？
たべたものにいろをぬりましょう

ひにち	日			日			日			日			日			日								
よう日	よう日																							
しょくじ	あさ	ひる	ゆう																					
きいろのたべもの	<input type="checkbox"/>																							
あかいろのたべもの	<input type="checkbox"/>																							
みどりいろのたべもの	<input type="checkbox"/>																							

ぎゅうにゅうをのんだかずだけ、ぎゅうにゅうびんにいろをぬりましょう

ひにち	日			日			日			日			日			日								
よう日	よう日																							
	<input type="checkbox"/>																							

ぎゅうにゅうのよいところを 3つかんがえて、
おうちの人に おはなししましょう。
おはなしできたら、右のえにいろをぬりましょう。



つづき

きょうのしょくじは、
3つのいろがそろっていたかな？
たべたものにいろをぬりましょう



ひにち	日			日			日			日			日			日					
よう日	よう日																				
しょくじ	あさ	ひる	ゆう																		
きいろのたべもの	<input type="checkbox"/>																				
あかいろのたべもの	<input type="checkbox"/>																				
みどりいろのたべもの	<input type="checkbox"/>																				

ぎゅうにゅうをのんだかずだけ、ぎゅうにゅうびんにいろをぬりましょう

ひにち	日			日			日			日			日					
よう日	よう日																	
	<input type="checkbox"/>																	

なつのやさいには どんなものがあるかな？
おうちの人といっしょに かんがえてみましょう。
かんがえたものを 5つかきましょう。

